

SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル 設定メニュー編

プリンターの操作パネルで設定できる各種機能について
記載されています



目次

目次	2
ご注意	3
設定メニューの概要	4
メニューの開始	4
メニュー表示と操作	4
メニューの終了	5
階層メニューの構造	6
メニュー項目一覧表	10
テスト印刷・レポートメニュー	10
プリンター管理・調整メニュー	12
インターフェース設定メニュー	21
用紙設定メニュー	24
印刷設定メニュー	33
機器設定メニュー	37
保守設定メニュー	41
エミュレーション設定メニュー	41
付録 1. エミュレーション詳細	42
エミュレーション設定メニュー	42
付録 2. メニュー階層と設定の概要一覧	51
付録 3. 複数のインターフェース使用時の運用について	55
インターフェースの自動切り替え	55

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または、全部を無断転載することを禁止します。
- (2) 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。最新版の説明書が弊社ホームページからダウンロードできる場合がありますのでご活用ください。説明書の改定に伴い、参照先のページがズれる場合があります。あらかじめご了承ください。
- (3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタードライバーのヘルプもしくはテキストファイルなどに記載されることがあります。その他最新の製品情報やプリンタードライバーのダウンロードサービスをインターネットで提供しております。
<http://casio.jp/ppr/>
- (4) 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(4) 項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社のもの以外の第三者による修理・改造および当社純正品の以外のオプションまたは消耗品を使用したことなどに起因して生じた障害、およびトラブルなどにつきましては、当社は責任をおいかねますのでご了承ください。
- (7) 「PC-PR201H」「201H」は日本電気株式会社の登録商標です。
- (8) 「ESC/P」「ESC/Page」は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
- (9) 「Microsoft」、「Windows」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- (10) 「Felica」はソニー株式会社の登録商標です。
- (11) 「MIFARE」「I-CODE」は、NXP Semiconductors の商標です。
- (12) その他の社名および製品名等は、一般に各社の登録商標または商標です。
- (13) 本文中またはソフトウェア上の記載には、必ずしも商標表示 (®、TM マーク) を付記していません。

設定メニューの概要

操作パネルで設定できる各種メニューとその操作について、概要を説明します。

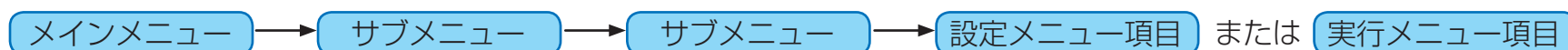
メニューの開始

プリンターの待機中*に オンライン ボタンを押すと、表示パネルに機能設定メニュー（メインメニュー）が表示されます。

*待機中とは、印刷データがない状態を指します。

メニュー表示と操作

設定メニューは、次のような階層で構成されています。

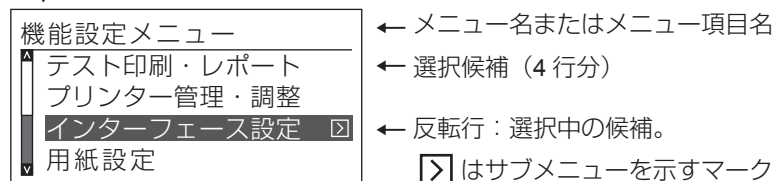


パネル表示

ボタンまたは ボタンを押すと、現在選択している候補（反転行）が切り替わります。

設定メニュー項目の場合、設定されている選択候補に「*」マークが表示されます。
（「メニュー項目一覧」で「*」が付いている設定内容は、初期状態（工場出荷デフォルト値）の値を表しています。）

ボタンまたは ボタンを押すと、次の4つの選択候補が表示されます（4候補を超える候補がある場合）。



- 表示パネルには、先頭行にメニュー名またはメニュー項目名が、2行目以降に選択候補が4行分表示されます。反転表示している行が、選択されている選択候補です。
- ボタンまたは ボタンを押すと、上または下の項目が選択されます。
- 選択候補が4つ以上ある場合は、更に ボタンまたは ボタンを押すと、前または次の4つの選択候補が表示されます。
- 選択中の候補（反転行）がサブメニューの場合は、右端に が表示されます。この場合は、 ボタンを押すと、サブメニューへ進みます。 が表示されていない場合は、その候補が最後の設定メニュー項目または実行メニュー項目です。 ボタンを押して、設定または実行します。 ボタンを押すと、元のメニューに戻ります。ただし、メインメニュー（機能設定メニュー）では何も動作しません。

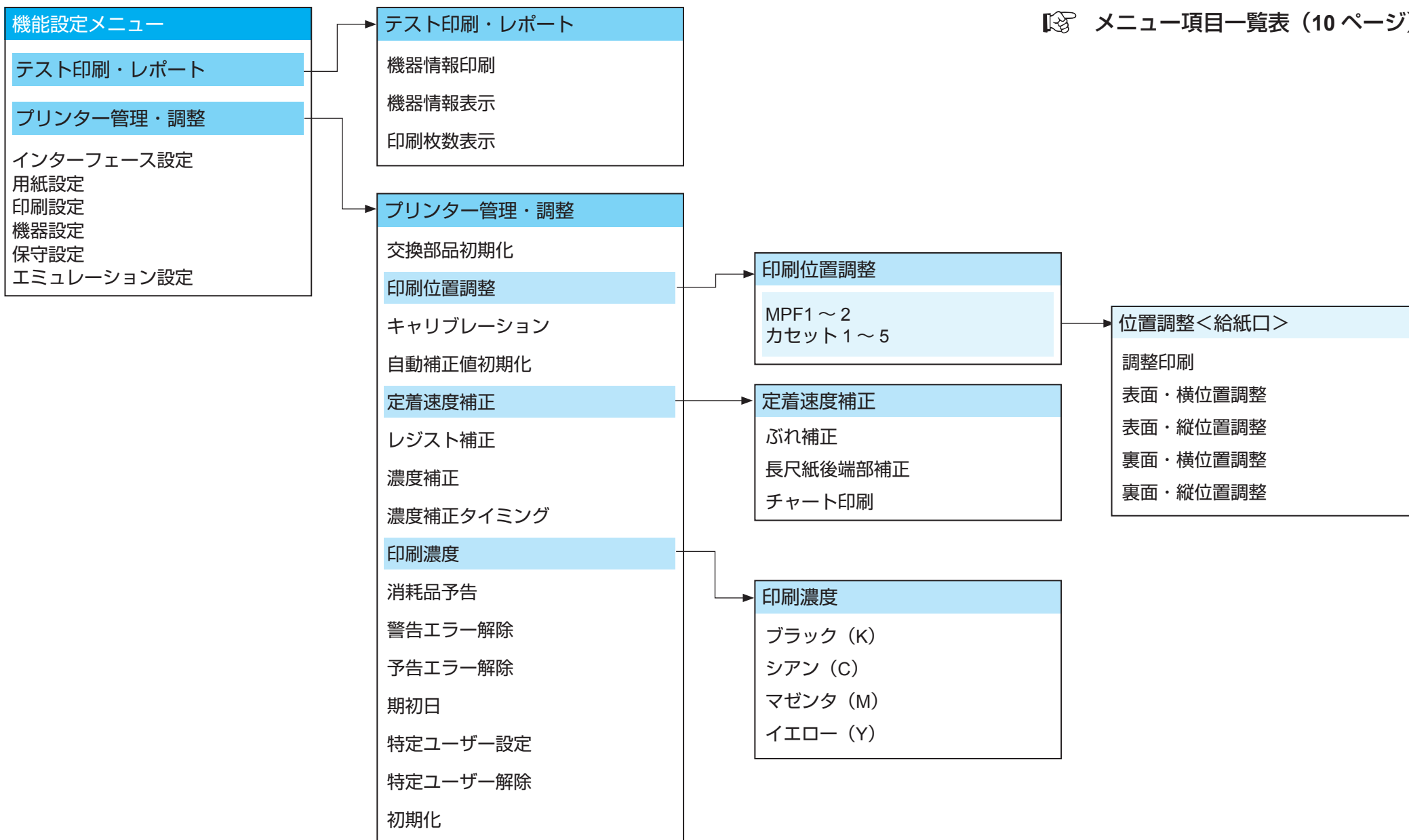
メニューの終了

設定がすべて終了したら、**オンライン** ボタンを押して印刷可状態に戻します。このときに、設定内容がプリンター内部に記憶されます。

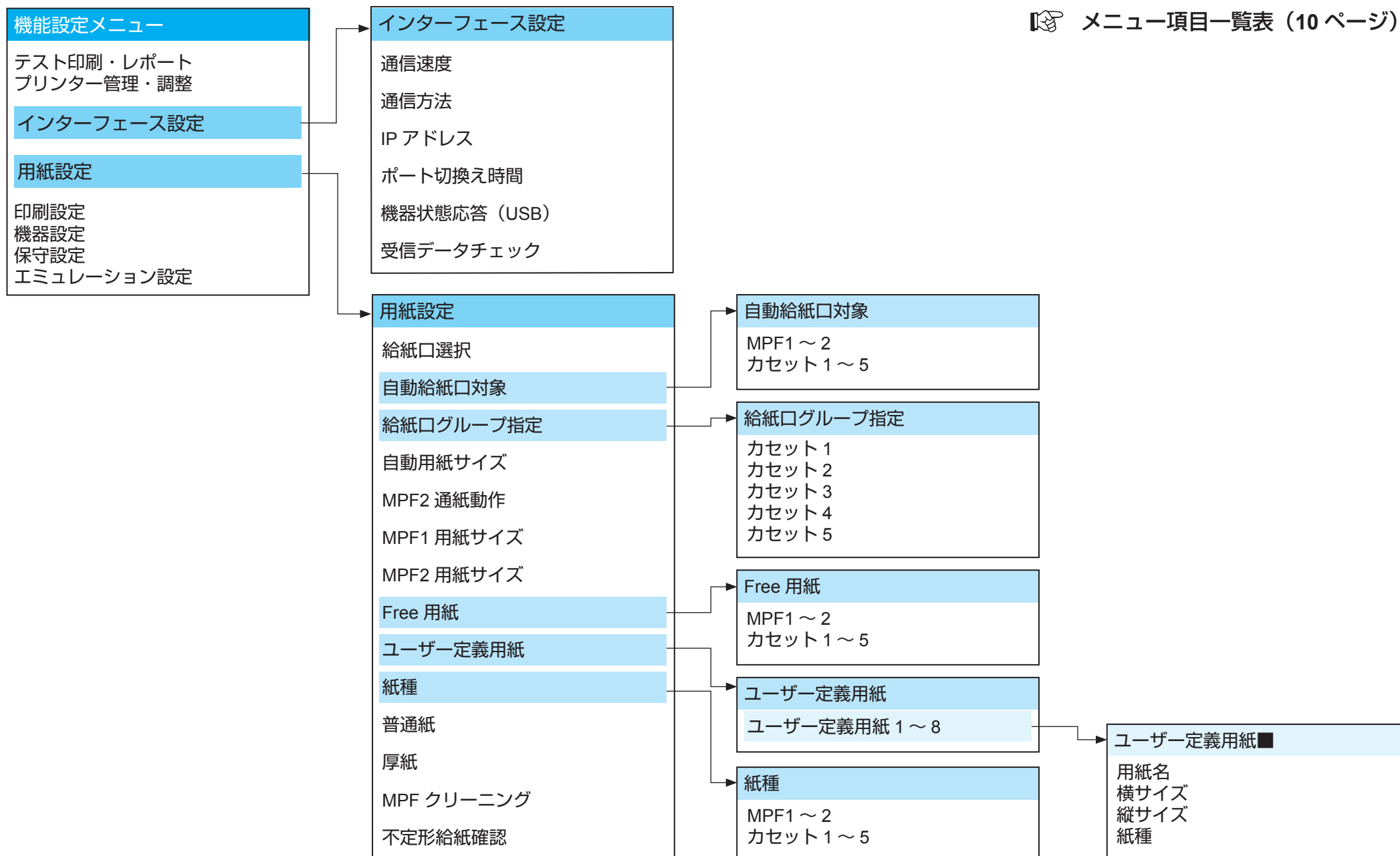
- **オンライン** ボタンを押さずにプリンターの電源を **OFF** にすると、設定内容がプリンター内部に記憶されず、次回の電源 **ON** 以降も元の設定内容のままとなります。

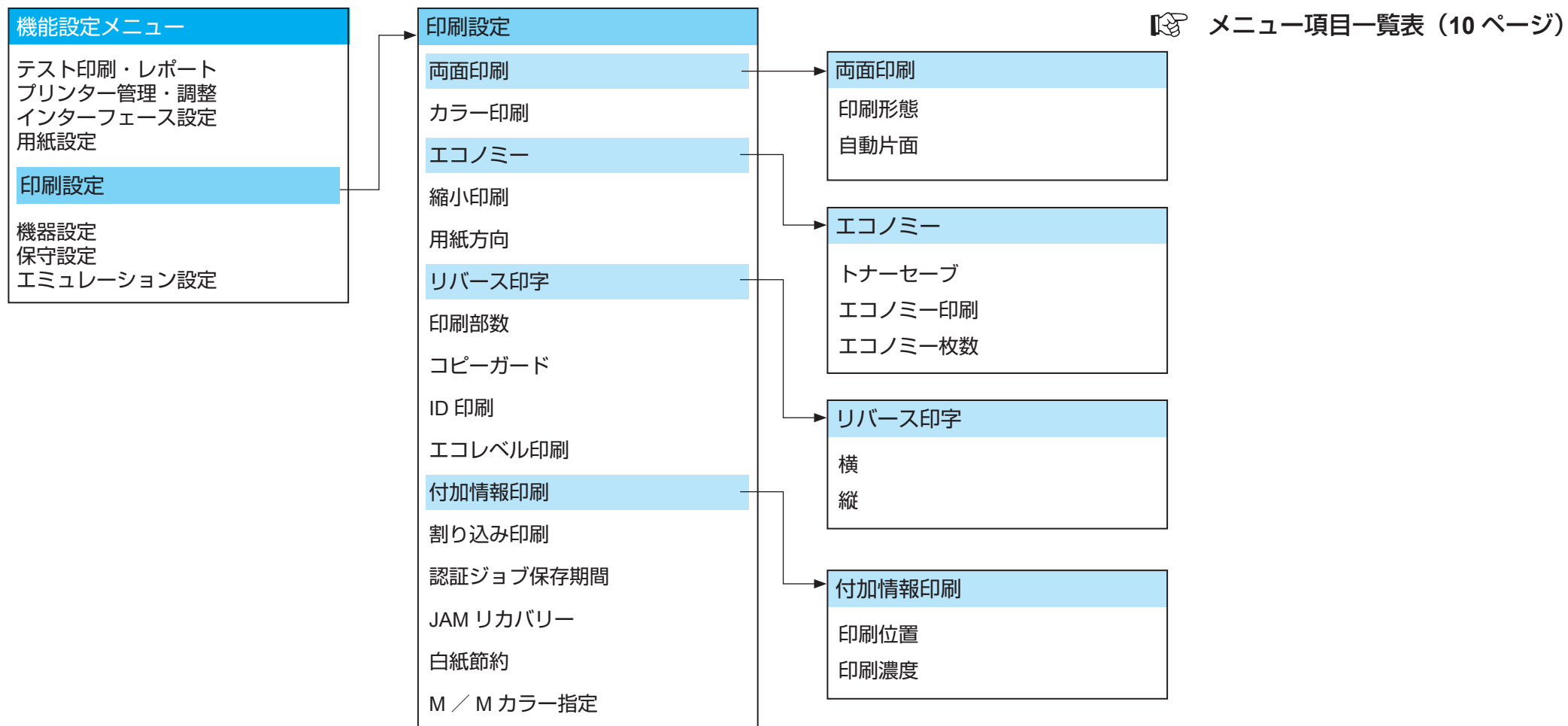
階層メニューの構造

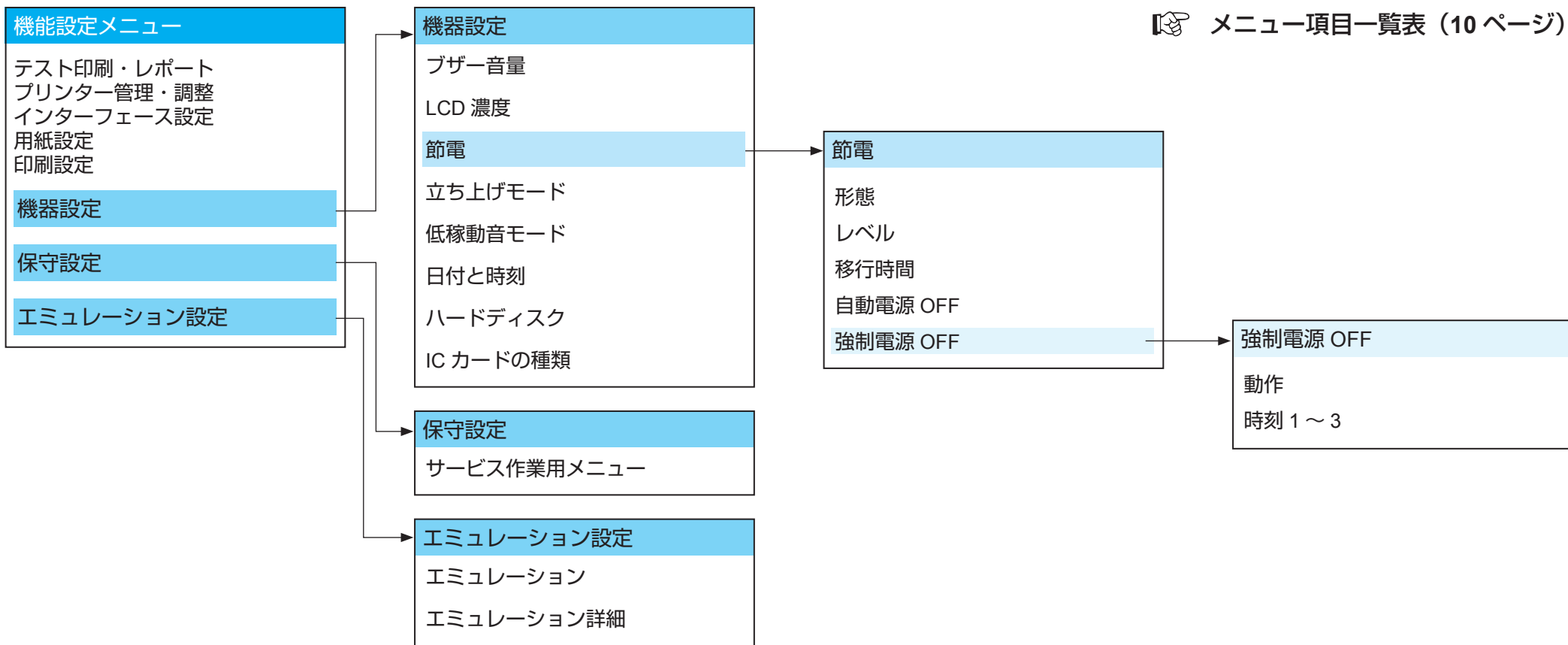
👉 メニュー項目一覧表 (10 ページ)



👉 メニュー項目一覧表 (10 ページ)







メニュー項目一覧表

本書内「*」が付いている設定内容は、初期状態（工場出荷デフォルト値）を表しています。（パネル表示では、設定されている選択候補に「*」マークが表示されます。）

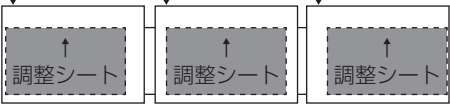
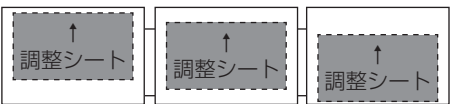
テスト印刷・レポートメニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
テスト印刷・レポート			
機器情報印刷	《機器情報印刷》 ステータスシート ステータスシート・両面 ステータスシート2 カウンター情報 ネットワーク設定	←ステータスシート印刷（片面） ←ステータスシート印刷（両面） ←ステータスシート2の印刷（片面） ←印刷枚数の印刷（片面） ←ネットワーク設定情報の印刷（片面） • ステータスシート2は、エミュレーション設定の詳細や、Webで設定する権限等その他の項目を印刷します。	<ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="radio"/> ボタンを押して印刷している間は、「印刷中」または「両面印刷中」を表示します。 • ステータスシート・両面は、ステータスシートとステータスシート2を、両面で印刷します。 • 各印刷はA4（横送り）用紙に印刷しますので、あらかじめカセットにA4用紙をセットしてください。ただしステータスシートの印刷は、「用紙設定」→「給紙口選択」で現在設定されている給紙口のカセットに、A4用紙をセットしてください。 • 「ステータスシート」・「ステータスシート・両面」・「ステータスシート2」の印刷では、現在設定されているコピー枚数分、印刷されます。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
テスト印刷・レポート			
機器情報表示	《機器情報表示》 ネットワーク 本体	← ネットワーク設定情報表示 ← 機器本体情報表示	<ul style="list-style-type: none"> ● <input checked="" type="radio"/> ボタンを押すと情報が表示されます。 ● 表示例 ネットワーク IP 197.1.58.44 MAC 08:00:99:99:99:99 本体 RIP : TD0K1.XX/XX ENG : BAXXXX SER : 3060XXX LC. 3000 ● <input type="checkbox"/> ボタンを押すと、メニューに戻ります。
印刷枚数表示	<印刷枚数表示> カラー印刷枚数 モノクロ印刷枚数	← 用紙サイズごとのカラー印刷枚数表示 ← 用紙サイズごとのモノクロ印刷枚数表示	<ul style="list-style-type: none"> ● <input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押すと、情報が表示されます。 《カラー印刷枚数表示》 《モノクロ印刷枚数表示》 A3 1,000,000 枚 A3 1,000,000 枚 B4 1,000,000 枚 B4 1,000,000 枚 A4 1,000,000 枚 A4 1,000,000 枚 B5 1,000,000 枚 B5 1,000,000 枚 A5 1,000,000 枚 A5 1,000,000 枚 長尺紙 1,000,000 枚 長尺紙 1,000,000 枚 その他 1,000,000 枚 その他 1,000,000 枚 ● <input type="checkbox"/> ボタンを押すと、メニューに戻ります。

プリンター管理・調整メニュー

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考
プリンター管理・調整				
交換部品初期化		《交換部品初期化》 定着ユニット 転写ベルトユニット 廃トナーボックス	定着ユニット/転写ベルトユニット/廃トナーボックスを交換した時、各部品の初期調整や管理情報の初期設定を行います。	実行中は、以下のメッセージが表示されます。 「定着ユニット ←選択した部品名 交換後の調整中」 終了すると元のメニュー表示に戻ります。 (数分程度の時間がかかる部品もあります。) • 本メニューを実行しない場合、レジストずれなどの不具合の発生や、残量表示やオペレータコールなどが正しく動作しないことがあります。 • 定着ユニット/転写ベルトユニット/廃トナーボックスを交換した時は、必ず本メニューを実行してください。
印刷位置調整	MPF1～2 カセット1～5	調整印刷	《調整印刷■■■■■》 片面印刷 両面印刷	指定された給紙口から給紙します。 ←調整シートが、片面で印刷されます。 ←調整シートが、両面で印刷されます。 ■■■■■…給紙口が表示されます。 MPF1～2 カセット1～5 調整シートに印刷された画像を見て、印刷位置を調整してください。 • MPF2 およびカセット3～5は、装着時に表示されます。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
<p>プリンター管理・調整</p>			
<p>印刷位置調整</p>	<p>MPF1～2 カセット1～5</p>	<p>表面・横位置調整 表面・縦位置調整 裏面・横位置調整 裏面・縦位置調整</p> <p>《■面・■位置調整■■■ ■■■》 + 10.0mm * 0.0mm - 10.0mm</p>	<p>横位置調整： 表面／裏面の印刷開始位置を左右方向にずらす量を給紙口ごとに設定します。 マイナス値は用紙左端方向に、プラス値は用紙右端方向に印字領域がずれます。</p> <p>縦位置調整： 給紙口ごとに、表面／裏面の印刷開始位置を上下方向にずらす量を給紙口ごとに設定します。 マイナス値は用紙上端方向に、プラス値は用紙下端方向に印字領域がずれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ずらし量は、- 10.0 ～ + 10.0mm (0.1mm 単位) の範囲内で設定します。初期状態 (工場出荷デフォルト値) は、0mm です。 <p>＜用紙と印刷画像の印字位置の関係＞</p> <p>横調整</p>  <p>マイナス (-) 値 0 のとき プラス (+) 値</p> <ul style="list-style-type: none"> 横調整の値によっては、印刷内容の一部 (左 / 右) が印刷されないことがあります。 <p>縦調整</p>  <p>マイナス (-) 値 0 のとき プラス (+) 値</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦調整の値によっては、印刷内容の一部 (上 / 下) が印刷されないことがあります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整			
キャリブレーション	《キャリブレーション》 全て実行 レジスト補正実行 濃度補正実行	キャリブレーションを実行します。 ← レジスト補正・濃度補正、両方共実行 ← レジスト補正を実行 ← 濃度補正を実行	<ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="radio"/> ボタンを押すと、すぐにキャリブレーションが実行されます。キャリブレーションの実行中は、表示パネルに、「実行中」が表示されます。 • レジスト補正では、各色の印字位置を調整して、色ズレを少なくします。通常は、自動的に実行されていますので、この操作をする必要はありません。「プリンター管理・調整メニュー」→「レジスト補正」または「濃度補正」のメニューで、自動補正を「行わない」にしている場合は、本操作で調整できます。 • トナー残量が約 1% 以下の場合、濃度補正・レジスト補正は実行されません。
自動補正值初期化	《自動補正值初期化》 全て初期化 レジスト補正值初期化 濃度補正值初期化	自動補正值を初期化します。 ← レジスト／濃度補正值の両方を初期化 ← レジスト補正值を初期化 ← 濃度補正值を初期化	<ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="radio"/> ボタンを押すと、すぐに補正值が初期化されます。補正值の初期化中は、表示パネルに「補正值初期化中」が表示されます。 • 自動補正初期化では、自動補正されたレジスト値が初期化され、初期状態（工場出荷デフォルト値）に戻ります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
プリンター管理・調整			
定着速度補正	ぶれ補正	《ぶれ補正》 - 8 ~ + 7	<p>定着ユニットの基準となる用紙搬送速度の補正值を設定します。 - 8 ~ + 7 の範囲で設定 (1 きざみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着部の用紙搬送速度を調整することで、画像後端ブレを改善できます。 +方向の値にすると、定着の基準用紙搬送速度を速くし、画像後端ブレを改善できます。+方向の値に設定し過ぎた場合は、色ずれが生じることがあります。 「*」は現在設定されている値を示します。
	長尺紙後端部補正	《長尺紙後端部補正》 - 8 ~ + 7	<p>定着ユニットの、長尺紙後端部の用紙搬送速度の補正值を設定します。 - 8 ~ + 7 の範囲で設定 (1 きざみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長尺紙で印字擦れや画像後端ブレが出る場合、用紙の定着前のたわみ量を少なくし、定着前の画像擦れや画像後端ブレを改善できます。 +方向の値にすると、たわみ量が少なくなり、画像擦れやブレを改善できます。ただし、+方向に設定し過ぎると色ずれが生じることがあります。この場合、-方向の値に戻すことで改善されます。 -方向の値にすると、たわみ量が多くなります。-方向に設定し過ぎると、画像擦れやブレの原因となります。 「*」は現在設定されている値を示します。
	チャート印刷	《チャート印刷》 A3 (2枚 カセット 1) 長尺紙 600mm 長尺紙 900mm 長尺紙 1200mm	<p>定着速度補正の確認用チャートが印刷されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ← A3 用紙にカセット 1 より 2 枚 ← 長尺紙 600mm に MPF1 より 1 枚 ← 長尺紙 900mm に MPF1 より 1 枚 ← 長尺紙 1200mm に MPF1 より 1 枚 <ul style="list-style-type: none"> ☑ ボタンを押すと、指定のチャートが厚紙モードで印刷されます。印刷中は、表示パネルに「印刷中」が表示されます。

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考
プリンター管理・調整				
レジスト補正		《レジスト補正》 行わない * 行う	レジスト自動補正（自動調整）をするかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> レジスト補正について各色の印字位置を調整して、色ズレを少なくする機能です。 次の場合は、レジスト自動補正は実行されません。 <ul style="list-style-type: none"> トナー残量が約 1% 以内のとき ベルト交換のとき
濃度補正		《濃度補正》 行わない * 行う（標準） 行う（高精度）	濃度自動補正（自動調整）をするかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 行う（高精度）に設定すると濃度補正をする頻度が行う（標準）より高くなります。 次の場合は、濃度自動補正は実行されません。 <ul style="list-style-type: none"> トナー残量が約 1% 以下のとき ベルト交換のとき
濃度補正タイミング		《濃度補正タイミング》 * 標準 標準 + 電源 ON 時	濃度自動補正（自動調整）を行うタイミングを設定します。	
印刷濃度	ブラック (K) シアン (C) マゼンタ (M) イエロー (Y)	《印刷濃度 ■》 + 5 * 0 - 5	ブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) それぞれに、印刷濃度を + 5 ~ - 5 の範囲 (1 きざみ) で微調整します (調整値の設定)。	通常は、設定する必要はありません。
消耗品予告		《消耗品予告》 停止しない * 一時停止する	トナー・ドラムの交換予告表示時に、一時停止するかどうかを設定します。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整			
警告エラー解除	《警告エラー解除》 * 解除しない 自動解除	警告エラー発生時の解除動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 解除しない… <input checked="" type="radio"/> ボタンを押すまで、エラーが表示され続けます。 自動解除……エラー発生後約 2 秒で自動的にエラースキップし、処理が継続されます。 	
予告エラー解除	《予告エラー解除》 * 解除しない 自動解除	予告エラー発生時の解除動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 解除しない… <input checked="" type="radio"/> ボタンを押すまで、エラーが表示され続けます。 自動解除……エラー発生後約 2 秒で自動的にエラースキップし、処理が継続されます。 	取消可能な予告エラー発生時の解除動作を設定します。
期初日	《期初日》 * 4 月 1 日	エコログの期初日を設定します。 日付を入力します。 (2 月 29 日は入力不可です。) <ul style="list-style-type: none"> 日付の入力方法は、「機器設定」→「日付と時刻」の説明／備考欄の「日付と時刻の設定方法」を参照してください。 	期初日を変更した場合、エコログは一時停止します。次のプリンター電源 ON 時に、期初日変更処理を行い、エコログが再開されます。 <ul style="list-style-type: none"> 期初日を変更した場合は、<input type="button" value="オンライン"/> ボタンを押して印刷可状態に戻した後、プリンターの電源を OFF →電源 ON してください。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
プリンター管理・調整			
特定ユーザー設定	《特定ユーザー設定》	<p>ユーザー別エコログに自動登録されているユーザー名が一覧表示されます。 「ユーザー名+ホスト名」として合成するユーザー名を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 候補を選択した後に、<input checked="" type="radio"/> ボタンを押します。設定したユーザー名の先頭に「*」が表示されます。 特定ユーザーは、最大 8 個まで設定できます。次のように、1 つずつ登録してください。 <p><input checked="" type="radio"/> ボタンを押したら、いったん、<input type="radio"/> ボタンで「プリンター管理・調整メニュー」に戻り、再度「特定ユーザー設定」に進みます。</p>	<p>特定ユーザーとして設定すると、ユーザー名にコンピュータのホスト名が加えられ、それがユーザー名として扱われます。</p> <p>(例) ホスト名 :host1 特定ユーザー名 :admin ユーザー名 :admin + host1</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一のユーザー名を複数のコンピュータで共用している場合、そのユーザー名を「特定ユーザー」として設定しておくこと、ユーザー別エコログ[*]やパネルのユーザー名表示などで、異なるユーザーとして区別できるようにする必要があります。 <p>[*]ユーザー別エコログ：ユーザー別の印刷枚数などを蓄積しているログ</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字、小文字は区別されます。
特定ユーザー解除	《特定ユーザー解除》	<p>特定ユーザーとして設定されているユーザー名が一覧表示されます。 特定ユーザーを解除するユーザーを選択して<input checked="" type="radio"/> ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 解除されると、ユーザー名の先頭に「*」が表示されます。 特定ユーザーを解除する場合は、次のように、1 つずつ解除してください。 <p><input checked="" type="radio"/> ボタン押下後、いったん、<input type="radio"/> ボタンで「プリンター管理・調整メニュー」に戻り、再度「特定ユーザー解除」に進みます。</p>	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整			
初期化	《初期化》 設定 1 (メニュー) 設定 2 (ネットワーク) 設定 3 (権限) エコログ スケジュールログ	プリンター内の設定情報・ログの初期化。 ← 設定メニューの情報を初期化 ← ネットワークの設定情報を初期化 ← 権限情報などの設定情報を初期化 ← エコログ情報を初期化 ← 自動スケジュールログを初期化	<p><input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押すと、すぐに初期化が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「設定 1 (メニュー)」～「設定 3 (権限)」では、登録されている内容がすべて初期化され、初期状態（工場出荷デフォルト値）に戻ります。初期化中は、表示パネルに「設定初期化中」が表示されます。 「エコログ」と「スケジュールログの初期化」の実行中は、表示パネルに「ファイル削除中」が表示されます。 初期化実行中はプリンターの電源を OFF にしないでください。電源 OFF にした場合の、各設定情報やログの内容は保証されません。 <p>エコログの初期化について</p> <p>エコログを初期化した場合、エコログの取得は一時停止し、次のプリンター電源 ON 時に再開されます。このため、エコログを初期化した場合は、<input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して印刷可状態に戻した後、プリンターの電源を OFF → 電源 ON してください。</p> <p>なお、エコログを初期化すると、ユーザー別エコログも初期化されます。</p>

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整			
初期化			<p>スケジュールログについて</p> <p>10分間隔の時間帯別の印刷実績を蓄積したログであり、自動節電スケジュール機能に使用します。スケジュールログを初期化した場合、この印刷実績のロギングを一時停止します。</p> <p>次の電源 ON 時に、ロギングを再開しますので、初期化を行った場合は、必ず、<input checked="" type="checkbox"/> オンライン ボタンを押下してオンライン状態に戻した後、プリンターの電源を OFF → 電源 ON してください。</p>

インターフェース設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
インターフェース設定			
通信速度	《通信速度》 * 自動設定 100M 全二重 100M 半二重 10M 全二重 10M 半二重	ネットワーク通信速度設定を設定します。 ← 自動設定 (オートネゴシエイション) 100Base-TX/10Base-T が自動判定されます。 ← 100Base-TX 全二重 ← 100Base-TX 半二重 ← 10Base-T 全二重 ← 10Base-T 半二重	本設定は、次の電源 ON から有効になります。
通信方法	《通信方法》 メモリー RARP BOOTP * DHCP	ネットワーク通信方法を設定します。 ← 固定 IP アドレス ← RARP ← BOOTP ← DHCP	本設定は、次の電源 ON から有効になります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
インターフェース設定			
IP アドレス	《IP アドレス》 IP :xxx.xxx.xxx.xxx NM :xxx.xxx.xxx.xxx GW :xxx.xxx.xxx.xxx	←IP アドレス ←ネットマスク ←ゲートウェイを設定します。 ※「IP アドレス」のメニュー項目は、通信方法がメモリーの場合にのみ表示されます。 ※初期状態（工場出荷デフォルト値）は、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイとも、「0.0.0.0」です。	設定方法 (1) 設定されているアドレスが表示され、左端のフィールド（ドットで区切られた数値）の最下位桁にカーソル（下線）があります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">255. 255. 255. 255</div> ・カーソルのあるフィールドに入力できます。 (2) <input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/> ボタンを押して、0～255の数値を入力します。 (3) <input type="button" value="▶"/> ボタンを押します。 ・1つ右のフィールドへ移動します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">132. 255. 255. 255</div> (4) 手順(2)と(3)を繰り返し、各フィールドの数値を入力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">132. 1. 255. 255</div> (5) すべてのフィールドの数値を入力したら、 <input type="button" value="⊙"/> ボタンを押します。入力した値が設定されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">132. 1. 60. 15</div> 本設定は、次の電源 ON から有効になります。
ポート切換え時間	《ポート切換え時間》 600 秒 ～ * 30 秒 ～ 20 秒	インターフェースの自動切換え時間（ポート切換え時間）を設定します。 20～600 秒（10 秒きざみ）	・ポート切換え時間とは、データ受信がなくなってから受信待ちに入るまでの時間のことです 付録 3. 複数のインターフェース使用時の運用について (55 ページ) ・HDD 搭載時、かつ「印刷設定」→「割り込み印刷」が「有効」の場合、本設定は無効となります（この場合は、LAN・USB のマルチ受信を行います）。
機器状態応答 (USB)	《機器状態応答 (USB)》 行わない * 行う	USB 接続時、プリンター内の情報をホスト（コンピュータ）に回答するかどうかを設定します。	プリントサーバー使用時は、「行わない」に設定することを推奨します。

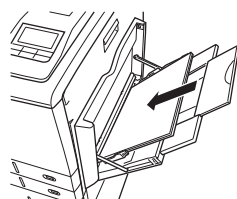
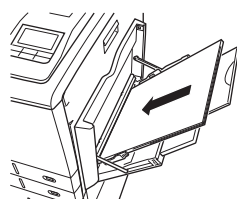
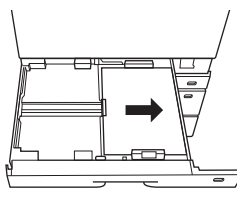
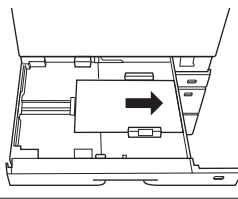
メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
インターフェース設定			
受信データチェック	《受信データチェック》 行わない *行う	受信データチェックをするかどうかを設定します。	本設定は、次の電源 ON から有効になります。

用紙設定メニュー

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考
用紙設定				
給紙口選択		《給紙口選択》 * 自動 MPF1 MPF2 カセット 1 カセット 2 カセット 3 カセット 4 カセット 5	給紙口（給紙装置）を設定します。 ← 自動給紙 ← MPF1（本体 MPF） ← MPF2（MPCPF の MPF） ← カセット 1 ← カセット 2 ← カセット 3 ← カセット 4 ← カセット 5	自動給紙について • 「自動給紙対象」で設定した給紙口から、「自動用紙サイズ」で設定した用紙が入っている給紙口を自動で探し印刷する機能です。 • MPF2 およびカセット 3～5 は、装着時に表示されます。
自動給紙口対象	MPF1～2 カセット 1～5	《自動対象 ■■■■■》 * 対象 非対象	給紙口ごとに自動給紙の対象かどうかを設定します。 ■■■■■…給紙口が表示されます。 MPF1～2 カセット 1～5	• 自動給紙の対象が全く設定されていない場合（すべて「非対象」の場合）、MPF1 を対象とします。 • MPF2 およびカセット 3～5 は、装着時に設定できます。
給紙口グループ指定	カセット 1～5	《グループ指定 ■■■■■》 * 指定しない グループ 1 グループ 2	給紙口のグループを設定します。 ■■■■■…給紙口が表示されます。 カセット 1～5	給紙口グループについて • 複数の給紙口をグループ化すると印刷時に給紙位置を指定して出力をした場合、同じグループ内でリレー給紙します。
自動用紙サイズ		《自動用紙サイズ》 A3 B4 A4R * A4 B5 A5 はがき レター 不定形	自動給紙動作時の用紙サイズを設定します。 ← A3 用紙 ← B4 用紙 ← A4 用紙（縦送り） ← A4 用紙（横送り） ← B5 用紙 ← A5 用紙 ← 郵便はがき ← レター ← 不定形用紙	参考：はがきの寸法 郵便はがき：100 × 148mm 私製はがき：短辺 90～107mm ×長辺 140 × 154mm (重量 2～6g)

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定			
MPF2 通紙動作	《MPF2 通紙動作》 * 指定用紙サイズ A3 B4 A4	MPF2 給紙時の通紙サイズを設定します。 ← MPF 用紙サイズで設定されたサイズ ← A3 サイズで通紙制御を行います。 ← B4 サイズで通紙制御を行います。 ← A4 サイズで通紙制御を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、通紙サイズ = A4 で、実際に給紙した用紙が A3 の場合、紙詰まりします。本項目を「A3」にしておけば、A3 以下の用紙を通紙しても紙詰まりしません。このようなサイズ違いによる紙詰まりを回避することができます。 両面印刷の場合は、「指定サイズ」を設定してください。「指定サイズ」以外を設定すると片面印刷となります。 MPF2 は装着時に設定できます。 MPF1 は指定サイズ固定で動作します。 (MPF1 には、通紙動作設定はありません。)
MPFn 用紙サイズ (n=1 ~ 2)	《MPFn 用紙サイズ》 A3 B4 A4R * A4 B5 A5 はがき レター 不定形	MPFn の初期用紙サイズを設定します。 ← A3 用紙 ← B4 用紙 ← A4 用紙 (縦送り) ← A4 用紙 (横送り) ← B5 用紙 ← A5 用紙 ← 郵便はがき ← レター用紙 ← 不定形用紙	<ul style="list-style-type: none"> MPF2 は装着時に設定できます。 参考：はがきの寸法 郵便はがき：100 × 148mm 私製はがき：短辺 90 ~ 107mm × 長辺 140 × 154mm (重量 2 ~ 6g)

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考	
用紙設定				
Free 用紙	MPF1～2 カセット1	<p>《Free 用紙■■■■■》</p> <p>未定義 B6 はがき 往復はがき 長形3号 長形4号 洋形1号 レター B6 ハーフ B5R(ユーザー定義用紙1) A5R(ユーザー定義用紙2) A6 (ユーザー定義用紙3) 未定義(ユーザー定義用紙4) 未定義(ユーザー定義用紙5) 未定義(ユーザー定義用紙6) 未定義(ユーザー定義用紙7) 未定義(ユーザー定義用紙8)</p>	<p>MPF1～2、カセット1の不定形の用紙サイズを設定します。</p> <p>← 未定義 ← B6 用紙 (縦送り) ← 郵便はがき (縦送り) ← 郵便往復はがき (横送り) ← 封筒 (長形3号) ← 封筒 (長形4号) ← 封筒 (洋形1号) ← レター ← B6 ハーフ ← B5 用紙 (縦送り) ※¹ ← A5 用紙 (縦送り) ※¹ ← A6 用紙 (縦送り) ※¹ ← 未定義 (ユーザー定義用紙4～8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> MPF2、カセット3～5はオプション装着時のみ表示されます。 ※¹ ユーザー定義用紙1～3には初期値が設定されています。 ※² 幅210mm以下の用紙は使用できません。 ※³ オプション(別売)の「小サイズアダプター」が必要です。 以下の条件を満たすユーザー定義用紙が候補として表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> MPF1、2 : 幅64mm以上 カセット1 : 幅64mmまたは90mm以上、長さ432mm以下 カセット2 : 幅128mm以上、長さ432mm以下 カセット3～5 : 幅100mm以上、長さ432mm以下
	カセット2	<p>《Free 用紙カセット2》</p> <p>未定義 B6 レター B5R(ユーザー定義用紙1) A5R(ユーザー定義用紙2) 未定義(ユーザー定義用紙3) 未定義(ユーザー定義用紙4) 未定義(ユーザー定義用紙5) 未定義(ユーザー定義用紙6) 未定義(ユーザー定義用紙7) 未定義(ユーザー定義用紙8)</p>	<p>カセット2の不定形の用紙サイズを設定します。</p> <p>← 未定義 ← 使用できません※¹ ← レター ← 使用できません※¹※² ← 使用できません※¹※² ← 未定義 (ユーザー定義用紙3～8)</p>	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定			
Free 用紙	カセット 3～5	<p>《Free 用紙■■■■■》</p> <p>未定義 B6 はがき 往復はがき レター B5R(ユーザー定義用紙 1) A5R(ユーザー定義用紙 2) A6 (ユーザー定義用紙 3) 未定義(ユーザー定義用紙 4) 未定義(ユーザー定義用紙 5) 未定義(ユーザー定義用紙 6) 未定義(ユーザー定義用紙 7) 未定義(ユーザー定義用紙 8)</p>	<p>カセット 3～5 の不定形の用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 用紙サイズによってはオプション（別売）の小サイズアダプターを装着する必要があります。 <p>← 未定義 ← B6 用紙（縦送り）※3 ← 郵便はがき（縦送り）※3 ← 郵便往復はがき（横送り）※3 ← レター ← B5 用紙（縦送り）※3 ← A5 用紙（縦送り）※3 ← A6 用紙（縦送り）※3 ← 未定義（ユーザー定義用紙 4～8）</p> <p>縦送り／横送りについて</p> <p>MPF の場合</p> <p>横送り </p> <p>縦送り </p> <p>カセットの場合</p> <p>横送り </p> <p>縦送り </p>

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
用紙設定			
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙 n (n=1 ~ 8)	用紙名	<p data-bbox="768 284 1137 1444">《ユーザー n 用紙名》 ■■■■■■</p> <p data-bbox="1137 284 1675 1444">ユーザー定義用紙 n (n = 1 ~ 8) の名称を設定します。 ■■■■■■の6文字を 20h ~ 7Dh、A1h ~ DFh の文字で定義します。 ただし他と重複する登録は不可です。</p> <p data-bbox="1137 491 1675 699">※ Web 設定にて、漢字（全角文字）が登録されている場合は、表示のみで入力できません。 用紙名に漢字（全角文字）を使用する場合は、Web 設定にて入力してください。</p> <p data-bbox="1675 284 2157 1444">用紙名の入力方法 (1) 表示パネルに、現在設定されている文字列 (6 文字) が表示され先頭の文字が反転します。 <input data-bbox="1877 435 2145 467" type="text" value="—"/></p> <p data-bbox="1675 515 2157 738">(2) <input data-bbox="1753 515 1798 547" type="checkbox"/> <input data-bbox="1798 515 1843 547" type="checkbox"/> ボタンを押して、文字を入力します。英数字・カタカナ・記号 (20h ~ 7Dh, A1h ~ DFh の範囲) の文字に順次変わります。これにより文字を入力します。 <input data-bbox="1877 707 2145 738" type="text" value="セ"/></p> <p data-bbox="1675 770 2157 882">(3) <input data-bbox="1753 770 1798 802" type="checkbox"/> ボタンを押します。 • 1つ右のフィールドへ移動します。 <input data-bbox="1877 850 2145 882" type="text" value="ヤ"/></p> <p data-bbox="1675 914 2157 1026">(4) 手順 (2) と (3) を繰り返し、各フィールドの文字を入力します。</p> <p data-bbox="1675 1058 2157 1169">(5) すべてのフィールドの数値を入力したら、<input data-bbox="1910 1106 1955 1137" type="checkbox"/> ボタンを押します。入力した値が設定されます。 <input data-bbox="1877 1185 2145 1217" type="text" value="ヤクタイプ3"/></p> <p data-bbox="1675 1265 2157 1377">• 6文字目にカーソルがある状態で再度、<input data-bbox="1753 1313 1798 1345" type="checkbox"/> ボタンを押すと先頭文字にカーソルが移動します。 <input data-bbox="1877 1377 2145 1409" type="text" value="セクタイプ3"/></p>

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考
用紙設定				
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙 n (n=1 ~ 8)	横サイズ	《ユーザー n 横サイズ》 999.9mm	<p>用紙サイズの入力方法</p> <p>(1) 表示パネルに、現在設定されている長さが表示され、最上位桁（百の位）の数字が反転されます。 <input type="text" value="0.0mm"/></p> <p>(2) <input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/> ボタンを押して、数字を入力します。</p> <p>(3) <input type="button" value="▶"/> ボタンを押します。 ・ 2 桁目（十の位）の数字が反転されます。 <input type="text" value="10.0mm"/></p> <p>(4) 手順 (2) と (3) を繰り返し、数字を入力します。</p> <p>(5) 整数部 3 桁と小数部 1 桁の入力が終了したら、<input type="button" value="⊙"/> ボタンを押します。入力した値が設定されます。 <input type="text" value="168.5mm"/></p> <p>・ 小数部 1 桁にある状態で <input type="button" value="▶"/> ボタンを押すと、百の位の数字が反転します。 <input type="text" value="168.5mm"/></p> <p>・ また一の位にカーソルがある状態で <input type="button" value="▶"/> ボタンを押すと、小数 1 桁目の数字が反転します。（小数点・単位はスキップ）</p>
	ユーザー定義用紙 n (n=1 ~ 8)	縦サイズ	《ユーザー n 縦サイズ》 999.9mm	

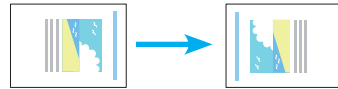
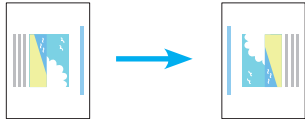
メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明／備考	
用紙設定					
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙 n (n=1 ~ 8)	紙種	《ユーザー n 紙種》 給紙口の設定に従う 普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙 はがき・封筒 ラベル紙 (厚手) OHP 薬袋・薬情 薬袋・薬情 (厚手)	ユーザー定義用紙 n の紙種を設定します。 ← 設定する MPF・カセットの紙種に依存 ← 64 ~ 69g/m ² ← 70 ~ 79g/m ² ← 80 ~ 94g/m ² ← 95 ~ 128g/m ² ← 129 ~ 216g/m ² ← はがき／封筒 ← ラベル紙 (厚手) ← OHP シート ← 薬袋／薬情 ← 薬袋／薬情 (厚手)	<ul style="list-style-type: none"> MPF の場合、「給紙口設定に従う」以外が選択されてもすべて MPF の紙種に依存します。 薬袋・薬情、薬袋・薬情 (厚手) は薬袋モデルのみ表示されます。薬袋モデルの初期値は、薬袋・薬情です。
紙種 (給紙口選択)	MPFn (n=1 ~ 2)	紙種	《MPFn 紙種》 * 普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙 はがき・封筒 ラベル紙 (厚手) OHP 薬袋・薬情 薬袋・薬情 (厚手)	給紙口ごとの紙の種類 (紙種) を設定します。 ← 64 ~ 69g/m ² ← 70 ~ 79g/m ² ← 80 ~ 94g/m ² ← 95 ~ 128g/m ² ← 129 ~ 216g/m ² ← はがき／封筒 ← ラベル紙 (厚手) ← OHP シート ← 薬袋／薬情 ← 薬袋／薬情 (厚手)	MPF1 ~ 2 の紙種を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> MPF2 が装着されていなくとも、設定できます。 薬袋・薬情、薬袋・薬情 (厚手) は薬袋モデルのみ表示されます。薬袋モデルの初期値は、薬袋・薬情です。

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考	
用紙設定					
紙種（給紙口選択）	カセット 1	紙種	《カセット 1 紙種》 * 普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙 はがき・封筒 ラベル紙（厚手） OHP 薬袋・薬情 薬袋・薬情（厚手）	給紙口ごとの紙の種類（紙種）を設定します。 ← 64 ~ 69g/m ² ← 70 ~ 79g/m ² ← 80 ~ 94g/m ² ← 95 ~ 128g/m ² ← 129 ~ 216g/m ² ← はがき/封筒 ← ラベル紙（厚手） ← OHP シート ← 薬袋/薬情 ← 薬袋/薬情（厚手）	カセット 1 の紙種を設定します。 • 薬袋・薬情、薬袋・薬情（厚手）は薬袋モデルのみ表示されます。 薬袋モデルの初期値は、薬袋・薬情です。
	カセット n (n=2 ~ 5)	紙種	《カセット n 紙種》 * 普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙 はがき・封筒 薬袋・薬情 薬袋・薬情（厚手）	給紙口ごとの紙の種類（紙種）を設定します。 ← 64 ~ 69g/m ² ← 70 ~ 79g/m ² ← 80 ~ 94g/m ² ← 95 ~ 128g/m ² ← 129 ~ 216g/m ² ← はがき/封筒 ← 薬袋/薬情 ← 薬袋/薬情（厚手）	カセット 2 ~ 5 の紙種を設定します。 • カセット 3 ~ 5 が装着されていない場合も、設定できます。 • 薬袋・薬情、薬袋・薬情（厚手）は薬袋モデルのみ表示されます。 薬袋モデルの初期値は、薬袋・薬情です。
普通紙		《普通紙設定》 + 5 * 標準 - 5	紙種が普通紙（64 ~ 69g/m ² ）の場合の、転写電圧を調整します。	用紙の種類や印刷方法（両面印刷）によって、ベタ画像やハーフトーン画像がかすれた場合に、設定を変更すると改善する場合があります。	
厚紙		《厚紙設定》 + 5 * 標準 - 5	紙種が厚紙（95 ~ 128g/m ² ）の場合の、転写電圧を調整します。	• ベタ画像がかすれる場合：+方向に設定してください。 • ハーフトーン画像がかすれる場合：-方向に設定してください。 • 通常は「標準」に設定してお使いください。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定			
MPF クリーニング	《MPF クリーニング》 *行わない 行う	MPF からの印刷時に、転写ロールをクリーニングしながら印刷を行う／行わないを設定します。	指定したサイズより小さい用紙を使用すると、用紙の裏が汚れる場合があります。このような時、「行う」に設定すると、転写ロールをクリーニングしながら印刷しますので、裏汚れを防止できます。(印刷速度は低下します。)
不定形給紙確認	《不定形給紙確認》 行わない *行う	不定形サイズ用紙給紙時に、プリンターの給紙動作をいったん停止するかどうかを設定します。 ← 停止しない ← 停止する	

印刷設定メニュー

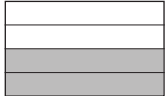
メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明／備考
印刷設定				
両面印刷	印刷形態	《印刷形態》 *片面 両面横とじ 両面上とじ	両面印刷するかどうかを設定します。 ←片面印刷（両面印刷しない） ←横綴じで両面印刷する ←上綴じで両面印刷する	<ul style="list-style-type: none"> 横綴じの両面印刷時、表面の左余白は裏面の右余白になります。 上綴じの両面印刷時、表面の上余白は裏面の下余白になります。
	自動片面	《自動片面》 *しない する	両面印刷が指定されている場合に、1ページだけのデータを受信したときに、両面印刷装置を経由しないで自動的に片面印刷にするかどうかを設定します。	両面印刷が指定されている場合に、2ページ以上の印刷データを受信したときは、本設定にかかわらず、必ず両面に印刷されます。
カラー印刷		《カラー印刷》 *カラー印刷 モノクロ印刷	カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 「カラー印刷」を設定しても、印刷データがモノクロの場合は、モノクロで印刷されます。 「機器設定」→「立上げモード」が「モノクロ専用」以外の場合は、本設定が有効になります。
エコノミー	トナーセーブ	《トナーセーブ》 90%（薄い） ～ 1%（やや薄い） * OFF	トナーの消費量を設定します。 ←セーブレベル 90% （薄い） ←セーブレベル 1% （やや薄い） ←通常の印刷 （適正）	トナー消費量をセーブした印刷のため、薄くなったり、印刷できない部分が発生することがあります。
	エコノミー印刷	《エコノミー印刷》 *行わない 行う	エコノミー印刷を設定します。 行わない…カラー画像／モノクロ画像共に、カラーモードで印刷されます。 行う………カラー画像／モノクロ画像に応じて、カラーモード／モノクロモードを切り替えて印刷されます。切替え方法は、「エコノミー枚数」で設定します。	印刷対象の画像が、カラーかモノクロかが自動判断され、自動的にカラーモード／モノクロモードが設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> カラーモード：ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）4色のドラム・トナーを使用して印刷するモードです。 モノクロモード：ブラック（K）1色のドラム・トナーを使用して印刷するモードです。

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考
印刷設定				
エコノミー	エコノミー枚数	《エコノミー枚数》 255 枚 ～ * 3 枚 ～ 0 枚	エコノミー印刷時のカラーモード/モノクロモードの切替え方法を設定します。 カラーモードからモノクロモードに切り替えるまでのモノクロ画像の枚数を、0～255枚で設定します。	0 枚：用紙 1 枚ごとに、カラー画像であればカラーモードで、モノクロ画像であればモノクロモードで印刷されます。 1～255 枚：モノクロ画像の場合、最後にカラー画像を印刷してから、指定した枚数以内の用紙はカラーモードで印刷されます。指定枚数を越えた用紙はモノクロモードで印刷されます。 なお、カラー画像の場合は必ずカラーモードで印刷されます。
縮小印刷		《縮小印刷》 * 通常 (OFF) 80% 69%	縮小印刷を設定します。 ← 縮小印刷しない ← 80% に縮小して印刷されます ← 69% に縮小して印刷されます	• ESC/P、および 201H で連続紙が選択されている場合、縮小設定は無効です。
用紙方向		《用紙方向》 横 * 縦	用紙方向を設定します。 ← 横 (ランドスケープ) で印刷されます ← 縦 (ポートレート) で印刷されます	
リバーズ印字	横	《リバーズ印字横》 * 行わない 縦給紙の時行う 横給紙の時行う	ランドスケープ時のリバーズ印字を設定します。 ← リバーズ印字しません ← 縦給紙用紙 (A3・B4 など) のみリバーズ印字 ← 横給紙用紙 (A4 など) のみリバーズ印字 ← 用紙に関係なくリバーズ印字	リバーズ印字では、180°回転して印刷されます。 • 縦給紙…横長に用紙をセットします。 横給紙…縦長に用紙をセットします。 
	縦	《リバーズ印字縦》 * 行わない 縦給紙の時行う 横給紙の時行う	ポートレート時のリバーズ印字を設定します。 ← リバーズ印字しません ← 縦給紙用紙 (A3・B4 など) のみリバーズ印字 ← 横給紙用紙 (A4 など) のみリバーズ印字 ← 用紙に関係なくリバーズ印字	リバーズ印字では、180°回転して印刷されます。 • 縦給紙…横長に用紙をセットします。 横給紙…縦長に用紙をセットします。 

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考
印刷設定				
印刷部数		《印刷部数》 255 部 ～ * 1 部	複写枚数を設定します。 1 ～ 255 枚の範囲で設定できます。	
コピーガード		《コピーガード》 *行わない パターン 1 ～ パターン 16 パターン EX	コピーガード印刷を設定します。 ← コピーガード印刷を行わない ← コピーガード印刷を行う (パターン 1) ← コピーガード印刷を行う (パターン 16) ← プリンタードライバー指定の任意パターン でコピーガード印刷を行う	<ul style="list-style-type: none"> コピーガード印刷のパターンは、パターン 1 ～ 16 から選択できます。 パターン EX を設定した場合は、プリンタードライバー指定の任意のパターンでコピーガード印刷できます。
ID 印刷		《ID 印刷》 *行わない 行う	印刷に ID 情報を付加するかどうかを設定します。	
エコレベル印刷		《エコレベル印刷》 *行わない 行う	エコレベルを示すマークを印刷するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> エコレベル印刷は、「両面印刷」、「マルチページ」、「トナーセーブ」が指定されている印刷物にのみ有効です。上記以外の場合、エコレベルを示すマークは印刷されません。
付加情報印刷	印刷位置	《印刷位置》 *印刷領域外 印刷領域内	ID 印刷・エコレベル印刷時の印刷位置を設定します	<ul style="list-style-type: none"> 領域外：用紙端 2mm の位置 領域内：用紙端 5mm の位置
	印刷濃度	《印刷濃度》 *通常 (薄い) 濃い	ID 印刷・エコレベル印刷時の印刷濃度を設定します。	
割り込み印刷		《割り込み印刷》 *無効 有効	割り込み印刷を有効にするかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 割り込み印刷は、HDD 装着時のみ使用できます。 「有効」に設定した場合、HDD 経由で印刷データを受信するため、処理速度が低下する場合があります。 本設定は、次の電源 ON から有効になります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
印刷設定			
認証ジョブ保存期間	《認証ジョブ保存期間》 99日 23時間 45分 ～ * 00日 03時間 00分	認証ジョブデータの保存期間を設定します。 • 設定範囲は、00日 00時間 00分～99日 23時間 45分 • 電源 ON 時または、節電モード移行時に、保存時間が超過した認証ジョブデータが削除されます。	• 保存期間を日、時間、分の形式で入力します。
JAM リカバリー	《JAM リカバリー》 行わない * 行う	紙詰まり復帰後の印刷ページの再印刷を設定します。	• 「行う」の場合、印刷の保証をします。 (印刷が重複する場合があります) • 「行わない」の場合、用紙を取り除いた後カバーを閉じると、自動的に印刷を再開しますが、プリンター内に残留していたページの再印刷は行いません。
白紙節約	《白紙節約》 行わない 行う * 従来互換で行う	白紙ページを印刷するかどうかを設定します。 ← 白紙ページも印刷する ← 白紙ページは印刷しない ← 画像生成しない白紙ページは印刷しない	
M / M カラー指定	《M / M カラー指定》 無効 * 有効 (互換) 有効 (高品位)	モノクロ印刷中のカラーデータをグレースケール変換するかどうかを設定します。 ← 無効 (変換しません) ← 有効 (粗いグレースケールに変換) ← 有効 (高品位グレースケールに変換)	

機器設定メニュー

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考
機器設定				
ブザー音量		《ブザー音量》  レベル 2	ブザー音量を設定します。消音、レベル 1～4 から設定可能です。	レベル数値が大きいほど、音量は大きくなります。
LCD 濃度		《LCD 濃度》 + 12 * 0 - 8	表示パネル(液晶)の濃度を設定します。 (濃い) (標準) (薄い) - 8～+ 12 まで 1 きざみで設定できます。	
節電	形態	《形態》 * スケジュール機能無効 スケジュール機能有効	節電スケジュール機能を使用するかどうかを設定します。	
	レベル	《レベル》 レベル 1 * レベル 2	節電の度合いを設定します。 ← 通常レベル ← 最大レベル	
	移行時間	《移行時間》 240 分 ~ * 1 分	節電状態に入るまでの時間を設定します。1 分単位で、1～240 分の範囲で設定できます。	• この設定は、「節電」→「形態」を「スケジュール機能無効」に設定している場合のみ有効です。

メニュー項目		表示メッセージ	内容	説明/備考	
機器設定					
節電	自動電源 OFF	《自動電源 OFF》 * 使用しない 使用する	自動電源 OFF は、本プリンターをモニタリングしているコンピューターがなくなった場合に、自動的に電源 OFF する機能です。機能を使用するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • SPEEDIA マネージャーで、「切り忘れ防止」「プリンターの自動電源 OFF 機能の対象とする」を設定しているコンピューターが、すべてなくなった場合に、プリンターの電源が OFF されます。 • この機能は、ネットワーク接続時に使用できます。USB のみで接続している場合は、「使用しない」設定にしてください。 ※ 詳細は SPEEDIA マネージャーマニュアルを参照してください。	
	強制電源 OFF	動作	《動作設定》 * 使用しない 使用する	「強制電源 OFF」は、指定した時刻を過ぎると、印刷データがないことを確認した上で、強制的にプリンターの電源を OFF する機能です。機能を使用するかどうかを設定します。	
		時刻 n (n=1 ~ 3)	《時刻設定 1 ~ 3》 * 00 時 00 分	強制電源 OFF する時刻を設定します。 00 時 00 分 ~ 23 時 50 分	<ul style="list-style-type: none"> • 本設定は、「強制電源 OFF」の「動作」が「使用する」に設定されている場合に有効です。 • 00 時 00 分に設定すると、時刻設定が解除され、強制電源 OFF は動作しません。
立ち上げモード		《立ち上げモード》 * カラー モノクロ モノクロ専用	プリンターの立ち上げモードを設定します。 ← カラー立ち上げ自動切換え ← モノクロ立ち上げ自動切換え ← モノクロ専用	<ul style="list-style-type: none"> • 「モノクロ専用」に設定している場合はカラー印刷できません。 • 本設定は、次の電源 ON から有効になります。 	


メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
機器設定			
低稼働音モード	《低稼働音モード》 *無効 有効	稼働音を低減するかどうかを設定します。 ←通常稼働音 ←印刷速度を低下させ稼働音を下げる	
日付と時刻	《日付と時刻》 2010年1月1日 23時59分59秒	プリンターの時計の日付と時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 日付と時刻は、<input type="radio"/> ボタンを押した時点で設定され、タイマーがスタートします。 設定の初期化を実行しても、日付と時刻は初期化されません。 	日付／時刻の設定 (1) <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して西暦を入力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2010-01-01</div> (2) <input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して月表示へ移動します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2013-01-01</div> (3) 手順1と2を繰り返し、「月」「日」を入力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2013-06-01</div> (4) 入力が終わったら、 <input checked="" type="radio"/> ボタンを押します。 (5) 「日」が反転表示のときに <input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押すと、「西暦」に移動します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2013-06-21</div> <ul style="list-style-type: none"> 西暦表示の左の「*」は非表示です。 時刻も日付と同様に、「時」「分」「秒」の順に入力します。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
機器設定			
ハードディスク	《ハードディスク》 フォーマット データチェック	ハードディスクに指定の処理を行います。 ←フォーマットを実行する。 ←データチェックを行う。	HDD のフォーマット (1) 「フォーマット」を選択して、 <input checked="" type="radio"/> ボタンを押します。 (2) 「フォーマットを実行しますか？」のメッセージを確認して、 <input checked="" type="radio"/> ボタンを押します。 HDD をフォーマットします。 ・「フォーマット中」が表示されます。 ・ <input type="checkbox"/> ボタンを押すと、フォーマットを中止してメニューに戻ります。 ・フォーマット実行中はプリンターの電源を OFF にしないでください。HDD 破損の原因になります。 HDD のデータチェック (1) 「データチェック」を選択して、 <input checked="" type="radio"/> ボタンを押します。 HDD のデータをチェックします。 ・「データチェック中」が表示されます。 ・エラーメッセージが表示された際は、フォーマットしてください。 ※このメニューは、HDD 取り付け時のみ表示されます。
IC カードの種類	《IC カードの種類》 * FeliCa TypeA (MIFARE) I-CODE SLI	IC カードの種類を設定します。	・本設定はオプションの USB 拡張ボード装着時に表示されます。 ・本設定は次回電源 ON 時より有効になります。 ・選択した種類が未対応の IC カードリーダーの場合は、FeliCa の設定となります。

保守設定メニュー

本メニューはサービス作業用メニューです。

エミュレーション設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
エミュレーション設定			
エミュレーション	《エミュレーション》 201H * ESC/P ESC/Page	使用するエミュレーションモードを設定します。	
エミュレーション詳細	《エミュレーション詳細》 * 表示しない 表示する	エミュレーションの詳細を表示するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 「エミュレーション」を「使用する」に、「エミュレーション詳細」を「表示する」に設定すると、「エミュレーション選択」が表示され、エミュレーションに関する項目を設定できます。  エミュレーション設定メニュー (42 ページ)

付録 1. エミュレーション詳細

エミュレーション設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
エミュレーション設定			
エミュレーション設定	[エミュレーション設定] エミュレーション エミュレーション詳細 HDA ESC/Page 設定 ESC/P 設定 201H 設定 ヘキサダンプ	エミュレーションに対する設定項目 ← エミュレーション・モード設定 ← エミュレーションの詳細表示する/しない ← HDA ← ESC/Page ← ESC/P ← 201H ← ヘキサダンプを選択後、 <input checked="" type="radio"/> ボタンを押すと、プリンターは、ヘキサダンプモードになります	<ul style="list-style-type: none"> 「エミュレーション詳細」を「表示する」と設定した場合のエミュレーション設定のメニューです。 ヘキサダンプモードの設定 ヘキサダンプを設定すると、オンライン状態となり、プリンターが受信するデータをすべて 16 進法で印刷します (ヘキサダンプモード)。 <input checked="" type="radio"/> ボタンを押すと、即時ヘキサダンプモードになります。 ヘキサダンプモード中は、表示パネルに * ヘキサ ダンプ * が表示されます。 ヘキサダンプモードを終了するには、プリンターの電源を OFF にします。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考
エミュレーション設定			
エミュレーション詳細	《エミュレーション詳細》 * 表示しない 表示する	エミュレーション詳細表示設定 ← 詳細表示しない ← 詳細表示する	<ul style="list-style-type: none"> 本設定を、「表示する」と設定した場合に、以下のメニューが表示されます。
HDA	《HDA》 * 無効 有効	1 バイトのバイナリ・データを 2 バイトのテキストデータで転送する機能を有効にする/しないを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> オンライン環境で、バイナリ・データが送出不可能な場合に有効です。 エミュレーション詳細表示設定が、「表示する」の場合のみ表示されます。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定			
ESC/Page 設定	< ESC/Page 設定 > 自動復帰改行動作 改ページ動作 CR 動作 LF 動作 FF 動作 エラーコード イメージパターン フォントタイプ スクリーン指定 スペース動作	ESC/Page の設定項目 ← 自動復帰改行 ← 自動改ページ ← CR 動作 ← LF 動作 ← FF 動作 ← エラーコード ← イメージパターン ← フォントタイプ ← C/M スクリーン指定 ← SP 動作	<ul style="list-style-type: none"> エミュレーション詳細表示設定が、「表示する」の場合のみ表示されます。
自動復帰改行動作	《G 自動復帰改行動作》 しない * する	印刷データが印字領域の右端を超えた時に、自動的に復帰改行して次の行の先頭に印刷する／しないを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 「しない」の場合、印字領域の右端を超えたデータは切り捨てられます。
改ページ動作	《G 改ページ動作》 しない * する	印刷データが改行のために印字領域の下端を超えた時に、自動的に改ページして次ページに印刷する／しないを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 「しない」の場合、印字領域の右端を超えたデータは切り捨てられます。
CR 動作 (キャリッジリターン)	《G CR 動作》 * CR CR + LF	プリンターが CR コード (復帰、0x0D) を受信した時、復帰 (CR) 動作／復帰 (CR)・改行 (LF) 動作、いずれの動作を行うかを設定します。	
LF 動作 (ラインフィード)	《G LF 動作》 LF * CR + LF	プリンターが LF コード (改行、0x0A) を受信した時、改行 (LF) 動作／復帰 (CR)・改行 (LF) 動作のいずれの動作を行うかを設定します。	
FF 動作 (改ページ)	《G FF 動作》 FF * CR + FF	プリンターが FF コード (改頁、0x0C) を受信した時、改頁 (FF) 動作／復帰 (CR)・改頁 (FF) 動作のいずれの動作を行うかを設定します。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考	
エミュレーション設定				
ESC/Page 設定	エラーコード	《G エラーコード》 * OFF ON	文字コード表にないコードを受信した時、 ←そのコードを無視 ←そのコードをスペースに置き換える	
	イメージパターン	《G イメージパターン》 * 1 2	イメージパターンの補正をするかどうかを設定します。 ←補正しない ←補正をする	
	フォントタイプ	《G フォントタイプ》 * 1 2 3	幅対高さが 1 対 2 の文字サイズが指定された場合に、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの使用の優先度を設定します。 ← 15 ポイント以下は半角フォント優先、 15 ポイント以上は全角フォント優先 ←全角フォント優先で印刷 ←半角フォント優先で印刷	
	スクリーン指定	《G スクリーン指定》 無効 *有効	カラーモード中にスクリーンパターン指定コマンド (GSn1tsE) を受信した場合に、スクリーンパターン指定を有効にするかどうかを設定します。	モノクロで作成された印刷データをカラーで印刷する場合、データの中にスクリーンパターン指定コマンドが含まれていると、見づらい印刷になる場合があります。このような場合は、本設定を「無効」に設定してください。
	スペース動作	《G スペース動作》 しない *する	スペースコード (20h) を文字として扱うかどうかを設定します。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考	
エミュレーション設定				
ESC/P 設定	< ESC/P 設定 > 連続紙 給紙位置 自動復帰改行動作 右マージン 文字コード ゼロ字形 漢字書体 イメージ補正 自動排紙 カラー指定 スペース動作	ESC/P の設定項目 ← 連続紙 ← 給紙位置 ← 自動復帰改行動作 ← 右マージン ← 文字コード ← ゼロ字形 ← 漢字書体 ← イメージ補正 ← 自動排紙 ← EM カラー指定 ← SP 動作	<ul style="list-style-type: none"> エミュレーション詳細表示設定が、「表示する」の場合のみ表示されます。 	
	連続紙	《P 連続紙》 * OFF F15-B4 横 F15-A4 横 F10-A4 縦	連続用紙の印刷データを単票用紙に縮小印刷する方法を設定します。 ← 縮小印刷しない ← 15 インチの連続用紙を、B4 横に縮小して印刷 ← 15 インチの連続用紙を、A4 横に縮小して印刷 ← 10 インチの連続用紙を、A4 縦に縮小して印刷	<ul style="list-style-type: none"> 本項目を設定している場合、「印刷設定」→「縮小」の設定は無効になります。
	給紙位置	《P 給紙位置》 22 ミリ * 8.5 ミリ 5 ミリ	用紙吸入時の上端余白を設定します。 ← 上端余白を 22mm に設定 ← 上端余白を 8.5mm に設定 ← 上端余白を 5mm に設定	
	自動復帰改行動作	《P 自動復帰改行動作》 しない * する	印刷データが印字領域の右端を超えた場合に、自動的に復帰改行して次の行頭に印刷するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 「しない」に設定した場合、印字領域の右端を超えたデータは切り捨てられます。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考	
エミュレーション設定				
ESC/P 設定	右マージン	《P 右マージン》 * 用紙幅 136 桁	右マージンを設定します。 ← 指定した用紙の印字可能領域の右端に設定 ← 用紙サイズに関係なく、136 桁（13.6 インチ）に設定	<ul style="list-style-type: none"> 「136 桁」に設定した場合、用紙幅が 13.6 インチ以下のときは、用紙幅を超えた部分のデータは印刷されません。
	文字コード	《P 文字コード》 * カタカナ グラフィック	英数カナ文字コード表を設定します。 ← カタカナコード表を設定 ← 拡張グラフィックコード表を設定	
	ゼロ字形	《P ゼロ字形》 * 0 ∅	ゼロの字形を設定します。 ← ゼロを「0」で記載 ← ゼロを「∅」（ゼロスラッシュ）で記載	
	漢字書体	《P 漢字書体》 * 明朝体 ゴシック体	漢字の書体（明朝／ゴシック）を設定します。	
	イメージ補正	《P イメージ補正》 * 1 2	プリンター解像度が異なることによるイメージデータの補正方法を設定します。 ← 標準の補正方法に設定 ← 罫線が正しく接続していない時などに設定	<ul style="list-style-type: none"> 解像度が補正をされるため、補正方法を変更しても、イメージデータによっては若干くずれて印刷される場合があります。
	自動排紙	《P 自動排紙》 * OFF 30 秒 15 秒 5 秒	未印字データが残っている場合に、自動的に排紙するかどうかを設定します。 ← 自動排紙しない ← 30 秒間変化がない場合に自動的に排紙 ← 15 秒間変化がない場合に自動的に排紙 ← 5 秒間変化がない場合に自動的に排紙	<ul style="list-style-type: none"> 「変化がない場合」とは、「プリンターにデータがこない」ことを示します。
	カラー指定	《P カラー指定》 無効 * 有効	エミュレートモード（ESC/P）中のカラー選択コマンド（ESC r）の有効／無効を設定します。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考	
エミュレーション設定				
ESC/P 設定	スペース動作	《P スペース動作》 *しない する	スペースコード (20h) を文字として扱うかどうかを設定します。	
201H 設定		< 201H 設定 > 連続紙 給紙位置 用紙位置 自動復帰改行動作 CR 動作 LF 動作 右マージン キャラクタモード 各国文字 ゼロ字形 漢字書体 イメージ補正 自動排紙 カラー指定 コード入れ替え スペース動作	201H の設定項目 ← 連続紙 ← 給紙位置 ← 用紙位置 ← 自動復帰改行動作 ← CR 動作 ← LF 動作 ← 右マージン ← キャラクタモード ← 各国文字 ← ゼロ字形 ← 漢字書体 ← イメージ補正 ← 自動排紙 ← EM カラー指定 ← コード入れ替え ← SP 動作	• エミュレーション詳細表示設定が、「表示する」の場合のみ表示されます。
	連続紙	《H 連続紙》 * OFF F15-B4 横 F15-A4 横 F10-A4 縦	連続用紙の印刷データを単票用紙に縮小印刷する方法を設定します。 ← 縮小印刷しない ← 15 インチの連続用紙を、B4 横に縮小して印刷 ← 15 インチの連続用紙を、A4 横に縮小して印刷 ← 10 インチの連続用紙を、A4 縦に縮小して印刷	• 本項目を設定している場合、「印刷設定」→「縮小」の設定は無効になります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明/備考	
エミュレーション設定				
201H 設定	給紙位置	《H 給紙位置》 25.4 ミリ 22 ミリ * 8.5 ミリ 8 ミリ 5 ミリ	用紙吸入時の上端余白を設定します。 ← 上端余白を 25.4mm に設定 ← 上端余白を 22mm に設定 ← 上端余白を 8.5mm に設定 ← 上端余白を 8mm に設定 ← 上端余白を 5mm に設定	
	用紙位置	《H 用紙位置》 * 左 中央 - 5 ミリ 中央 中央 + 5 ミリ	横方向の印字範囲（136 桁）の中での用紙位置を設定します。 ← 左合わせに設定 ← 中央合わせで、左に 5mm にずらす ← 中央合わせに設定 ← 中央合わせで、右に 5mm にずらす	<ul style="list-style-type: none"> • DOS アプリケーションの印字で、「PC-PR201H」シートフィーダ付きを選択した場合は、「中央」、「中央 ± 5」のどちらかに設定してください。 • 「中央 - 5」は、用紙位置を左に 5mm ずらすため、印字位置は「中央」に対して右に 5mm ずれます。同様に「中央 + 5」は、「中央」に対して左に 5mm ずれます。 • 左右マージン値によっては、左右の一部が切れる場合があります。
	自動復帰改行動作	《H 自動復帰改行動作》 しない * する する (CR のみ)	印刷データが印字領域の右端を超えた場合に、自動的に復帰改行して次の行頭に印刷するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • 「しない」に設定した場合、印字領域の右端を超えたデータは切り捨てられます。
	CR 動作 (キャリッジリターン)	《H CR 動作》 * CR CR + LF	CR コード（復帰、0 × 0D）を受信した場合の動作を設定します。 ← 復帰 (CR) 動作 ← 復帰 (CR) ・改行 (LF)	
	LF 動作 (ラインフィード)	《H LF 動作》 * LF CR + LF	LF コード（改行、0 × 0A）を受信した場合の動作を設定します。 ← 改行 (LF) 動作 ← 復帰 (CR) ・改行 (LF)	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考	
エミュレーション設定				
201H 設定	右マージン	《H 右マージン》 * 用紙幅 136 桁	右マージンを ← 指定した用紙の印字可能領域右端に ← 用紙サイズに関係なく、136 桁（13.6 インチ）に設定	• 「136 桁」設定時、用紙幅が 13.6 インチ以下の場合、用紙幅を超えた部分のデータは印刷されません。
	キャラクタモード	《H キャラクタモード》 * 8 ビット 7 ビット	7 ビットコード／8 ビットコードの設定をします。	
	各国文字	《H 各国文字》 * 日本 アメリカ イギリス ドイツ スウェーデン	英数カナ文字コード表の 0x20 ～ 0x7F 内のコードを、指定の国に対応したデザインに変更します。	• 「日本」以外の国を設定する際には、「キャラクタモード」を「7 ビットコード」に設定してください。
	ゼロ字形	《H ゼロ字形》 * 0 ∅	ゼロの字形を設定します。 ← ゼロを「0」で記載 ← ゼロを「∅」（ゼロスラッシュ）で記載	
	漢字書体	《H 漢字書体》 * 明朝体 ゴシック体	漢字の書体（明朝／ゴシック）を設定します。	
	イメージ補正	《H イメージ補正》 * 1 2	プリンター解像度が異なることによるイメージデータの補正方法を設定します。 ← 標準の補正方法に設定 ← 罫線が正しく接続していない時などに設定	• 解像度が補正をされるため、補正方法を変更しても、イメージデータによっては若干くずれて印刷される場合があります。
	自動排紙	《H 自動排紙》 * OFF 30 秒 15 秒 5 秒	未印字データが残っている場合に、自動的に排紙するかどうかを設定します。 ← 自動排紙しない ← 30 秒間変化がない場合に自動的に排紙 ← 15 秒間変化がない場合に自動的に排紙 ← 5 秒間変化がない場合に自動的に排紙	• 「変化がない場合」とは、「プリンターにデータがこない」ことを示します。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考	
エミュレーション設定				
201H 設定	カラー指定	《H カラー指定》 無効 *有効	カラーコマンド (ESC C) の有効／無効の設定をします。	
	コード入れ替え	《H コード入れ替え》 *しない する	漢字コード表の文字並びを設定します。 ← JIS90 の並び ← JIS78 の並び	<ul style="list-style-type: none"> • JIS90 の並び、JIS78 の並び、いずれも、漢字文字の字形は JIS90 字形です。 • 「する」(JIS78 並び) に設定しても、JIS78 の旧 JIS 文字字形にはなりません。
	スペース動作	《H スペース動作》 *しない する	スペースコード (20h) を文字として扱うかどうかを設定します。	

付録 2. メニュー階層と設定の概要一覧

メニュー項目	設定概要
[機能設定メニュー]	
テスト印刷・レポート プリンター管理・調整 インターフェース設定 用紙設定 印刷設定 機器設定 保守設定 エミュレーション設定	プリンター内の管理情報の表示・印刷をします。 プリンターの調整・管理情報を設定します。 外部と接続するインターフェースを設定します。 印刷用紙に関する設定をします。 印刷条件の設定をします。 プリンター内の搭載機器を設定します。 サービス作業用メニューです。 エミュレーション機能を設定します。
[テスト印刷・レポート]	
機器情報印刷 機器情報表示 印刷枚数表示	機器情報を印刷します（ステータスシート印刷、カウンター印刷、ネットワーク印刷など）。 機器情報を表示します（ネットワーク設定情報、機器本体情報）。 印刷枚数が表示されます（カラー印刷枚数、モノクロ印刷枚数）。
[プリンター管理・調整]	
交換部品初期化 印刷位置調整 キャリブレーション 自動補正值初期化 定着速度補正 ぶれ補正 長尺紙後端部補正 チャート印刷 レジスト補正 濃度補正 濃度補正タイミング 印刷濃度 消耗品予告 警告エラー解除 予告エラー解除 期初日 特定ユーザー設定 特定ユーザー解除 初期化	定期交換部品を交換した場合に実行します。（定着ユニット、転写ベルト、廃トナーボックス） 給紙口、表面／裏面ごとに、印字位置を調整します。 自動補正を強制実行します（レジスト補正、濃度補正）。 自動補正值を初期化します（レジスト補正、濃度補正）。 定着器の速度を補正します。 * 定着ユニットの用紙搬送速度を補正する機能です。定着ユニットや転写ベルトユニットを交換した場合に、画像後端ぶれや、長尺紙での印字擦れなどが発生したときは、本機能で調整できます。 また、ぶれ補正をし過ぎて色ずれが生じた場合も本機能で修正できます。 自動的にレジスト補正をするかどうかを設定します。 自動的に濃度補正をするかどうかを設定します。 濃度自動補正（自動調整）を行うタイミングを設定します。 ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の濃度を微調整する場合に設定します。 トナー・ドラムなどの予告エラー時の動作を設定します。 警告エラーを自動解除するかどうかを設定します。 予告エラーを自動解除するかどうかを設定します。 ログ収集に必要な期初日を設定します。 複数のコンピュータで同一（共通）のユーザー名を利用している場合に設定します。 特定ユーザーの設定を解除します。 設定内容などを初期状態（工場出荷デフォルト値）に戻します（設定 1～3、エコログ、スケジュールログ）。

メニュー項目	設定概要
[機能設定メニュー]	
[インターフェース設定]	
通信速度 通信方法 IP アドレス ポート切換え時間 機器状態応答 (USB) 受信データチェック	LAN 通信速度を設定します (自動、100M 全二重、100M 半二重、10M 全二重、10M 半二重)。 LAN 通信方法を設定します。(メモリー、RARP、BOOTP、DHCP) IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスクを設定します。(通信方法「メモリー」時のみ設定可) インターフェース (LAN・USB) の自動切替え時間 (ポート切換え時間) を設定します。 USB 接続時の機器状態応答を設定します (USB 接続時のみ有効)。 受信データチェックをするかどうかを設定します。
[用紙設定]	
給紙口選択 自動給紙口対象 給紙口グループ指定 自動用紙サイズ MPF2 通紙動作 MPF1 用紙サイズ MPF2 用紙サイズ Free 用紙 ユーザー定義用紙 紙種 普通紙 厚紙 MPF クリーニング 不定形給紙確認	印刷する給紙口を選択します。 自動給紙の対象となる給紙口を選択します。 給紙口のグループを設定します。 自動給紙時の用紙サイズを設定します。 MPF2 給紙時の通紙サイズを設定します。 MPF1 の用紙サイズを設定します。 MPF2 の用紙サイズを設定します。 不定形の用紙サイズを設定します。 ユーザー定義用紙を設定します。 給紙口ごとの紙種を設定します。 紙種が普通紙 (64 ~ 69g/m ²) の場合の、転写電圧を調整します。 紙種が厚紙 (95 ~ 128g/m ²) の場合の、転写電圧を調整します。 MPF に対するクリーニング動作の設定をします。 不定形サイズ用紙給紙時に、プリンターの給紙動作をいったん停止するかどうかを設定します。

メニュー項目	設定概要
[機能設定メニュー]	
[印刷設定]	
両面印刷 印刷形態 自動片面 カラー印刷 エコノミー トナーセーブ エコノミー印刷 エコノミー枚数 縮小印刷 用紙方向 リバース印字 印刷部数 コピーガード ID 印刷 エコレベル印刷 付加情報印刷 印刷位置 印刷濃度 割り込み印刷 認証ジョブ保存期間 JAM リカバリー 白紙節約 M / M カラー指定	両面印刷に関する設定をします。 両面印刷する／しないの設定と両面印刷時の綴じ位置を設定します。 最終ページの裏面に印字データがない場合に、自動的に片面印刷をするかどうかを設定します。 カラー印刷をするかどうかを設定します。 エコノミー印刷に関する設定をします。 トナー消費量を減らした印刷をする場合に設定します。 画像がモノクロの場合に、自動的にモノクロモードで印字する機能（エコノミー印刷）を設定します。 エコノミー印刷時、カラーモードからモノクロモードに切り替えるまでのモノクロ画像の枚数を設定します。 縮小印刷を設定します。 印刷時の印刷方向（ランドスケープ／ポートレート）を設定します。 180 度回転させて印刷する場合に設定します。 印刷部数を設定します。 使用するコピーガードパターンを設定します。 用紙四隅に ID 情報を付加して印刷するかどうかを設定します。 エコレベルを示すマークを印刷するかどうかを設定します。 ID 印刷／エコレベル印刷に関する設定をします。 ID 印刷／エコレベル印刷の印字位置（印刷領域外／印刷領域内）を設定します。 ID 印刷／エコレベル印刷の印刷濃度を設定します。 割り込み印刷をするかどうかを設定します。（HDD 取り付け時のみ有効です。） 認証印刷時、HDD に保存される認証ジョブの保存期間を設定します。 用紙 JAM 時にリカバリー印刷を行うかどうかを設定します。 白紙ページを印刷するかどうかを設定します。 モノクロモード時のカラーデータのグレースケール変換方法を指定します。

メニュー項目	設定概要
[機能設定メニュー]	
[機器設定]	
ブザー音量 LCD 濃度 節電 形態 レベル 移行時間 自動電源 OFF 強制電源 OFF 立ち上げモード 低稼働音モード 日付と時刻 ハードディスク IC カードの種類	ブザー音量を 5 段階で設定します。 LCD の濃度を調整します (21 段階)。 節電に関する設定をします。 節電スケジュール機能の有効/無効を設定します。 節電の度合い (レベル 1: 通常レベル、レベル 2: 最大レベル) を設定します。 節電状態に入るまでの時間を設定します (「節電スケジュール機能」が「無効」の場合に有効)。 利用 (監視) しているコンピュータがない場合、自動的に電源 OFF する場合に設定します。 強制的に電源 OFF する時刻を設定します。 プリンターをモノクロモードで立ち上げる場合に設定します。 印刷速度を抑制し、動作稼働音を低減するモードを設定します。 日付と時計を設定します。 ハードディスクの「フォーマット」「データチェック」を行うことができます。 IC カードの種類を設定します。
[保守設定]	
	サービス作業用メニューです。
[エミュレーション設定]	
エミュレーション エミュレーション詳細	エミュレーションを設定します。 エミュレーションの詳細を表示します。

付録 3. 複数のインターフェース使用時の運用について

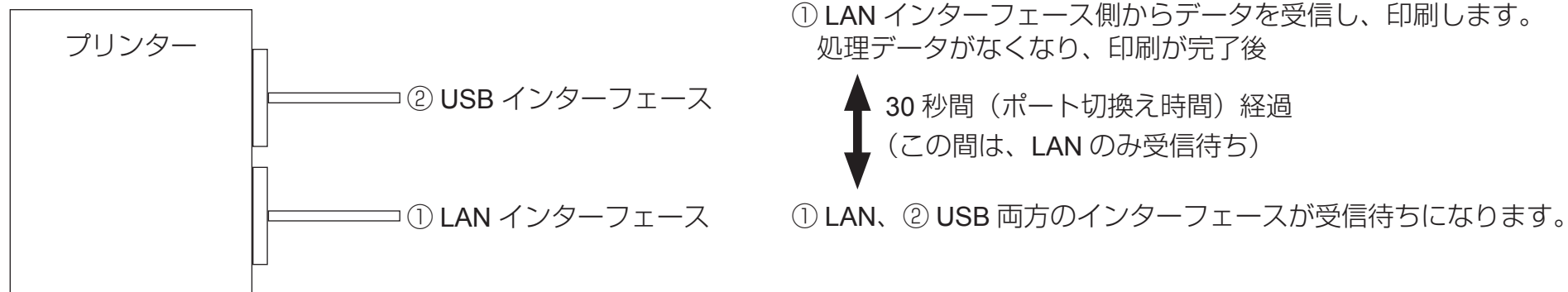
本プリンターでは、標準で LAN、USB のインターフェースを装備しています。

インターフェースの自動切り替え

2つのインターフェースからのデータ受信を自動的に排他制御し、先に受信したインターフェースからのデータが印刷されます。受信しているインターフェースからの印刷が完全に終了した後、ポート切換え時間（タイムアウト時間）を経過すると、ほかのインターフェースからデータを受信できます。

ポート切換え時間（タイムアウト時間）は、設定メニューの「インターフェース設定」→「ポート切換え時間」で設定できます。

例) ポート切換え時間（タイムアウト時間）を、30 秒に設定した場合



SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル 設定メニュー編

2015年6月15日発行 第7版発行

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

カシオ電子工業株式会社

© CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.

© CASIO COMPUTER CO., LTD.